

平成 30 年三重県議会定例会  
医療保健子ども福祉病院常任委員会

説 明 資 料

【 所 管 事 項 説 明 】

	頁
1 三重県病院事業 中期経営計画 平成 29 (2017) 年度の取組成果 について	1
2 平成 29 (2017) 年度病院事業決算の概要について	15

平成 30 年 6 月 21 日  
病 院 事 業 庁

【所管事項説明】

1 三重県病院事業 中期経営計画 平成 29 (2017) 年度の取組成果について

◀ 中期経営計画の策定趣旨 ▶

病院事業庁では、国・県の医療政策の動向や県立病院を取り巻く環境の変化、県立病院に求められている役割・機能等をふまえて、病院事業の経営を中期的な観点から計画的に推進し、それぞれの県立病院が県民の皆さんに医療サービスを安定的かつ継続的に提供していくため、平成 16 (2004) 年度から「三重県病院事業 中期経営計画」を策定しています。

平成 29 (2017) 年度においては、平成 29 (2017) 年 4 月 1 日から平成 33 (2021) 年 3 月 31 日までの 4 年間を計画期間とする「三重県病院事業 中期経営計画 (平成 29 年度～平成 32 年度)」を平成 29 (2017) 年 3 月に策定し、病院運営を行いました。なお、本計画は、総務省から、公立病院が安定した経営のもとに必要な医療を継続的に提供していくために、策定を求められた「新公立病院改革プラン」として位置付けているとともに、「地域医療構想」をふまえた内容を記載しています。

◀ 平成 29 年度の病院別の取組成果 ▶

こころの医療センター

平成 29 年度の取組方向

平成 29 年度は、精神科救急・急性期医療等の政策的医療や、認知症治療、アルコール依存症治療等の専門的医療に取り組むとともに、訪問看護やデイケア等の地域生活支援をより一層充実させるべく取組を進めます。

目標と実績

目 標 項 目	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H32 年度
	実 績	目 標 実 績	目 標 実 績	目 標 実 績
<b>【精神科救急・急性期医療の提供】</b>				
精神科救急患者受入件数	211 件	230 件 258 件	230 件	230 件
<b>【専門的医療の提供】</b>				
認知症入院患者数	37.3 人/日	40.0 人/日 34.5 人/日	40.0 人/日	40.0 人/日
アルコール依存症入院患者数	27.5 人/日	30.0 人/日 25.8 人/日	30.0 人/日	30.0 人/日
精神科早期介入対応件数	151 件	200 件 213 件	200 件	200 件

【所管事項説明】

目 標 項 目	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H32 年度
		目 標	目 標	目 標
	実 績	実 績	実 績	実 績
<b>【地域生活を支えるための支援】</b>				
デイケア・ショートケア延べ患者数	12,858 人	18,000 人 14,446 人	18,000 人	20,000 人
訪問看護延べ患者数	5,154 人	5,000 人 4,824 人	5,000 人	5,000 人
入院後 1 年以内の患者退院率（※）	94.7%	95.0% (87.9%)	95.0%	95.0%
障害福祉サービス事業所等との連携取組件数	4 件	4 件	6 件	8 件
こころしとこセミナー開催件数	45 件	30 件 58 件	32 件	35 件
<b>【人材育成の充実】</b>				
研修医・看護実習生等受入延べ人数	1,997 人	2,200 人 2,391 人	2,200 人	2,200 人
人材育成研修回数	5 回	5 回	5 回	5 回
<b>【業務改善の推進】</b>				
危機管理研修等参加率	86.1%	90.0% 97.4%	91.0%	93.0%
患者満足度	87.5%	91.1% 83.4%	92.8%	94.3%
<b>【経常収支比率・医業収支比率の向上】</b>				
経常収支比率	100.8%	101.3% 97.7%	101.3%	101.1%
医業収支比率	72.6%	74.7% 68.4%	74.4%	73.8%
<b>【患者数の確保に向けた取組】</b>				
1 日平均入院患者数	284.7 人/日	295.0 人/日 271.8 人/日	295.0 人/日	297.0 人/日
1 日平均外来患者数	253.5 人/日	270.0 人/日 232.9 人/日	275.0 人/日	280.0 人/日
<b>【医師・看護師の確保】</b>				
医師充足率	87.8%	100.0% 87.0%	100.0%	100.0%
看護師充足率	100.0%	100.0% 100.0%	100.0%	100.0%

※「入院後 1 年以内の患者退院率」の H29 年度実績は、平成 29 年 6 月に入院した患者の平成 30 年 4 月末における退院の割合になっています。

## 【所管事項説明】

### 平成 29 年度の取組成果

#### 【精神科救急・急性期医療の提供】

○三重県精神科救急医療システムの支援病院として、休日・時間外などの救急患者の受入れに対応するとともに、自傷・他害のおそれがある場合に実施する措置鑑定診察の要請に対しても積極的に対応（62 件）しました。（H29 目標：精神科救急患者受入件数 230 件（実績 258 件））

#### 【専門的医療の提供】

○認知症に対しては、専門的医療の提供とともに、家族等からの認知症相談などに対応する認知症疾患医療センターとして、認知症相談対応（831 件）や、保健・医療・福祉等の関係者を対象とした認知症に関する研修会を開催（参加者 131 人）しました。（H29 目標：認知症入院患者数 40.0 人/日（実績 34.5 人/日））

○アルコール依存症治療の専門病棟を有する病院として、充実した治療プログラムを提供しました。また、一般病院で治療を受けているアルコール依存症患者が、当院の専門的な依存症治療を受けられるよう、一般病院との連携に取り組みました。（H29 目標：アルコール依存症入院患者数 30.0 人/日（実績 25.8 人/日））

○精神科における早期発見・早期支援・早期治療を推進するため、院内に設置しているユース・メンタルサポートセンターM I E（YMSC-MIE）の運営を通じて、精神疾患に悩む若者やその家族等に対するきめ細かな支援を行うとともに、教職員や保護者等を対象とした研修会の開催や関係機関との意見交換を行いました。（H29 目標：精神科早期介入対応件数 200 件（実績 213 件））

#### 【地域生活を支えるための支援】

○外来患者の地域生活を支援するため、多様で効果的なプログラムを用いたデイケアサービスを提供するとともに、訪問看護を行いました。（H29 目標：デイケア・ショートケア延べ患者数 18,000 人（実績 14,446 人）、訪問看護延べ患者数 5,000 人（実績 4,824 人））

○長期入院患者の地域移行が可能となるよう、市町、障害福祉サービス事業所などの関係機関と連携し、院外のデイサービスの体験利用や就労作業所の体験実習などの支援を進めました。（H29 目標：入院後 1 年以内の患者退院率 95.0%（実績 87.9% ※H30.4 末時点））

○さまざまな精神疾患を有する患者の医療ニーズに対応し、地域での安心した生活につながるため、関係機関と意見交換会を開催するなど、連携した取組を積極的に行い、顔の見える関係づくりを推進しました。（H29 目標：障害福祉サービス事業所等との連携取組件数 4 件（実績 4 件））

## 【所管事項説明】

○精神障がい者や精神疾患に対する正しい理解を広めるため、教育機関や各種団体等へ講師を派遣して実施する出前講座「こころしっとこセミナー」について、積極的に対応しました。また、病院と地域住民との交流の場づくりとして「こころしっとこ祭」を院内で開催（参加者約 400 人）しました。（H29 目標：こころしっとこセミナー開催件数 30 件（実績 58 件））

## 【人材育成の充実】

○県内の精神科医療水準の向上のため、初期研修医・看護実習生等の受入れ依頼に対して積極的に対応するとともに、院内の医師や看護師等の専門性を向上させる研修を実施しました。（H29 目標：研修医・看護実習生等受入延べ人数 2,200 人（実績 2,391 人）、人材育成研修回数 5 回（実績 5 回））

## 【業務改善の推進】

○患者や家族の方々の視点に立った医療を安全に提供するため、医療倫理や医療安全に関する院内研修会を開催するなど、職員の意識・知識の向上等に努めました。（H29 目標：危機管理研修等参加率 90.0%（実績 97.4%））

○患者満足度が向上するよう、接遇研修会を開催するとともに、患者の皆さんの意見をふまえ、和式から洋式へのトイレの改修など環境改善を図りました。（H29 目標：患者満足度 91.1%（実績 83.4%））

## 【経常収支比率・医業収支比率の向上および患者数の確保に向けた取組】

○急性期の入院患者に対する医療の提供や訪問看護・デイケア等による地域生活支援の充実などの医療サービスを提供するとともに、診療材料等の適正な在庫管理を徹底するなどの費用の縮減に取り組んだものの、外来・入院患者数が減少したことから、経常損益は 13 年ぶりの赤字になりました。（H29 目標：経常収支比率 101.3%（実績 97.7%）、医業収支比率 74.7%（実績 68.4%）、1 日平均入院患者数 295.0 人/日（実績 271.8 人/日）、1 日平均外来患者数 270.0 人/日（実績 232.9 人/日））

## 平成 30 年度の主要な取組

平成 30 年度は、県内の精神科医療における中核病院としての役割を担いながら、適切な入院診療機能を確保するとともに、外来患者に対する地域生活支援の一層の充実を図るなど、多様な医療ニーズに応じたきめ細かなサービスの提供を通じて、健全な病院運営に努めていきます。

## 【精神科救急・急性期医療の提供】

○三重県精神科救急医療システムの支援病院として、引き続き、救急患者の受入れに対応するとともに、措置鑑定診察にかかる保健所からの要請に的確に対応していきます。（H30 目標：精神科救急患者受入件数 230 件）

## 【所管事項説明】

### 【専門的医療の提供】

- 認知症治療においては、専門外来（もの忘れ外来）と専門病棟（認知症治療病棟）による切れ目のない効果的な治療を提供するとともに、認知症疾患医療センターとして、家族等からの相談にきめ細かに対応しながら、積極的に普及啓発を進めていきます。（H30 目標：認知症入院患者数 40.0 人/日）
- アルコール依存症治療においては、引き続き、専門性の高いプログラムを用いた入院治療を提供するとともに、アルコールデイケアサービスの提供や家族等を対象とした研修会の開催などを通じて、断酒の継続を支援していきます。（H30 目標：アルコール依存症入院患者数 30.0 人/日）
- 精神科早期介入・早期予防においては、引き続き、ユース・メンタルサポートセンターM I E（YMSC-MIE）において、若年層やその家族等からの相談に対応し、必要に応じて院内の若者支援専門外来（YAC）につなげるなど、切れ目のない対応を進めていきます。（H30 目標：精神科早期介入対応件数 200 件）

### 【地域生活を支えるための支援】

- 患者の生活能力等向上のための多様で効果的なプログラムを用いたデイケアサービスを提供し、患者の日常生活や就労面での支援を行っていきます。（H30 目標：デイケア・ショートケア延べ患者数 18,000 人）
- 患者の在宅療養が継続できるよう、多職種や複数の看護師による訪問看護サービスを実施するなど、効果的な手法も取り入れながら、引き続き、訪問看護サービスを提供していきます。（H30 目標：訪問看護延べ患者数 5,000 人）
- 保健所や市町、障害福祉サービス事業所等の関係機関と十分に連携しながら、症状や生活環境等に応じた適切な退院支援により、入院患者の入院期間の長期化を防止していきます。（H30 目標：入院後1年以内の患者退院率 95.0%）
- 地域社会で心理的作用（ストレス）や精神疾患等に対する正しい理解を得るため、出前講座「こころしっとこセミナー」等の普及啓発に取り組んでいきます。（H30 目標：こころしっとこセミナー開催件数 32 回）

### 【人材育成の充実】

- 院内の受入体制の充実を図りながら、引き続き、多くの研修医や看護実習生等を受け入れていきます。（H30 目標：研修医・看護実習生等受入延べ人数 2,200 人）
- 精神保健指定医や認定看護師等の専門資格の取得を支援・促進するとともに、チーム医療や多職種連携のための幅広い知識の習得や技術の向上に資する研修機会の充実に努めていきます。（H30 目標：人材育成研修回数 5 回）

## 【所管事項説明】

### 【業務改善の推進】

- 「声の箱」や「患者様アンケート」等を通じて、こころの医療センターに対するご意見等を把握・分析し、必要となる取組を検討・推進していくことで、医療サービスや職員の接遇面での対応力の向上を図っていきます。(H30 目標：患者満足度 92.8%)

### 【経常収支比率・医業収支比率の向上および患者数の確保に向けた取組】

- 急性期の入院患者に対する医療の提供や訪問看護・デイケア等による地域生活支援の充実などの医療サービスを提供するとともに、診療報酬改定への的確な対応を通じて、収益増を図っていきます。また、費用の縮減に取り組み、経常収支の黒字をめざしていきます。(H30 目標：経常収支比率 101.3%、医業収支比率 74.4%、1日平均入院患者数 295.0人/日、1日平均外来患者数 275.0人/日)

【所管事項説明】

一 志 病 院

平成 29 年度の取組方向

平成 29 年度は、幅広い臨床能力を有する総合診療医を中心とした医療サービスを安定的に提供するとともに、津市が開設した新たな診療所への支援を行っていきます。また、地域医療を担う人材の育成や家庭医療等に関する研究、地域に最適な包括的で全人的な医療の体制づくりに向けた取組を進めます。

目 標 項 目	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H32 年度
		目 標	目 標	目 標
	実 績	実 績	実 績	実 績
<b>【地域医療の推進】</b>				
訪問診療、訪問看護等延べ患者数	4,195 人	3,700 人 4,493 人	4,000 人	4,000 人
住民健診、人間ドック、がん検診受検者数	1,486 人	1,400 人 1,466 人	1,400 人	1,400 人
救急患者受入件数	1,348 件	1,000 件 1,265 件	1,000 件	1,000 件
医療過疎地域等への支援件数	6 件	7 件 6 件	7 件	7 件
多職種連携による取組件数	20 件	30 件 32 件	30 件	30 件
<b>【人材育成の充実】</b>				
初期研修医・医学生受入延べ人数	673 人	600 人 630 人	600 人	600 人
看護実習生等受入延べ人数	303 人	330 人 348 人	330 人	330 人
学会、研修、カンファレンス等参加率	100.0%	100.0% 100.0%	100.0%	100.0%
<b>【地域医療提供体制の確保に資する研究活動の推進】</b>				
学会、論文等発表件数	36 件	30 件 43 件	30 件	30 件
<b>【プライマリ・ケアセンターへの支援】</b>				
プライマリ・ケア研修会開催件数	2 件	3 件 3 件	3 件	3 件
<b>【業務改善の推進】</b>				
夢プロジェクト開催回数	12 回	12 回 12 回	12 回	12 回
危機管理研修等参加率	78.2%	90.0% 100.0%	100.0%	100.0%
患者満足度	98.8%	96.6% 97.7%	96.6%	96.6%

【所管事項説明】

目 標 項 目	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H32 年度
		目 標	目 標	目 標
	実 績	実 績	実 績	実 績
<b>【経常収支比率・医業収支比率の向上】</b>				
経常収支比率		104.2%	101.0%	103.1%
	110.0%	110.0%		
医業収支比率		68.1%	66.4%	67.9%
	72.7%	72.9%		
診療報酬検討会開催回数		12 回	12 回	12 回
	12 回	12 回		
<b>【患者数の確保に向けた取組】</b>				
1 日平均入院患者数		37.0 人/日	38.0 人/日	38.0 人/日
	38.1 人/日	39.6 人/日		
1 日平均外来患者数		88.0 人/日	79.0 人/日	79.0 人/日
	85.1 人/日	79.1 人/日		
<b>【医師・看護師の確保】</b>				
医師充足率		100.0%	100.0%	100.0%
	95.6%	84.4%		
看護師充足率		100.0%	100.0%	100.0%
	100.0%	100.0%		

平成 29 年度の取組成果

【地域医療の推進】

- 通院が困難な患者に対する訪問診療や訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅療養支援を行うとともに、住民健診、人間ドック、がん検診等の予防医療に取り組みました。(H29 目標：訪問診療、訪問看護等延べ患者数 3,700 人(実績 4,493 人)、住民健診、人間ドック、がん検診受検者数 1,400 人(実績 1,466 人))
- 初期救急医療を担う医療機関として、24 時間 365 日の救急受入体制を維持し、白山消防署との救急ホットライン(医師との直通電話)や近隣診療所等との外来ホットライン(看護師長との直通電話)を活用しながら、迅速に多くの救急患者を受け入れました。また、白山消防署の救急救命士とともに「三重メディカルラリー2017」に参加し、救急搬送時の技術向上を図りました。(H29 目標：救急患者受入件数 1,000 件(実績 1,265 件))
- へき地医療拠点病院として、県内のへき地診療所への代診医派遣(3 回)を行うとともに、津市美杉地域の診療所に対して医師派遣等を行い、医療過疎地域への支援を行いました。(H29 目標：医療過疎地域等への支援件数 7 件(実績 6 件))
- 地域の医療・福祉・保健関係者が参画する「美杉・白山・一志 保健医療福祉連携会議」の開催や、課題検討会等を通じ多職種連携の体制を強化する「美杉・白山・一志

## 【所管事項説明】

顔の見える会」の取組への支援などにより、地域内関係者のネットワークの構築を図るとともに、在宅ケアをテーマとしたシンポジウム「第4回 一志・白山・美杉 在宅ケア みんなで考える集い」を開催し、地域住民の地域医療等に対する意識の向上を図りました。(H29 目標：多職種連携による取組件数 30 件 (実績 32 件))

## 【人材育成の充実】

- 総合診療医の育成拠点施設として、初期研修医（延べ 77 人）、医学生（延べ 553 人）等を積極的に受け入れるなど、一志病院の診療圏をフィールドにした実践的な研修を実施しました。(H29 目標：初期研修医・医学生受入延べ人数 600 人 (実績 630 人))
- 地域看護に関心を持つ看護師等を育成するため、看護実習生等の受入れ依頼に積極的に対応しました。(H29 目標：看護実習生等受入延べ人数 330 人 (実績 348 人))

## 【地域医療提供体制の確保に資する研究活動の推進】

- 院内の「研究やろう会」の開催（12 回）等を通じて、研究に対する意欲の醸成に努め、多くの学会等での研究発表や学術雑誌等への論文発表を行いました。(H29 目標：学会、論文等発表件数 30 件 (実績 43 件))

## 【プライマリ・ケアセンターへの支援】

- 医療過疎地域に必要なプライマリ・ケアを実践できる医療・介護従事者の育成を図るため、三重県プライマリ・ケアセンターと連携し、プライマリ・ケア エキスパートナース研修会の開催を支援しました。(H29 目標：プライマリ・ケア研修会開催件数 3 件 (実績 3 件))

## 【業務改善の推進】

- 地域の皆さんから信頼され、評価される病院として運営していくため、病院のビジョンの実現に向けて院内に設置した「夢プロジェクト」における職員の活動を通じて、プライマリ・ケアの実践や人材育成、経営の健全化などに取り組みました。(H29 目標：夢プロジェクト開催回数 12 回 (実績 12 回))
- 患者や家族の方々の視点に立った医療を安全に提供するため、医療倫理や医療安全に関する院内研修会を開催するなど、職員の意識・知識の向上等に努めました。(H29 目標：危機管理研修等参加率 90.0% (実績 100.0%))
- 患者満足度が向上するよう、接遇に関する研修会の開催や接遇チェック表を活用した職員の自己点検の取組を進めるとともに、患者の皆さんの意見等を踏まえ、掲示物の充実や待合室の環境改善を行いました。(H29 目標：患者満足度 96.6% (実績 97.7%))

## 【所管事項説明】

### 【経常収支比率・医業収支比率の向上および患者数の確保に向けた取組】

○収益の確保を図るため、院内の「診療報酬検討会」の開催により、請求漏れの防止等に関する情報を共有するとともに、材料費や経費などの費用の縮減に努めました。地域の医療機関、保健・福祉機関との連携による入院患者数の増等に伴い、医業収益が増額となったことにより、経常損益は前年度に引き続き黒字を確保することができました。(H29 目標：経常収支比率 104.2% (実績 110.0%)、医業収支比率 68.1% (実績 72.9%)、診療報酬検討会開催回数 12 回 (実績 12 回)、1 日平均入院患者数 37.0 人/日 (実績 39.6 人/日)、1 日平均外来患者数 88.0 人/日 (実績 79.1 人/日))

### 平成 30 年度の主要な取組

平成 30 年度は、プライマリ・ケアを担う医師や看護師等の医療従事者を安定的に確保したうえで、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践やプライマリ・ケアにかかる地域人材の育成など、引き続き、一志病院に求められる役割・機能を果たしてまいります。

また、「津市白山・美杉地域における在宅医療・介護の提供体制等に関する検討会」でとりまとめられた検討結果の中で、白山・美杉地域における実効性のある地域包括ケアシステムの構築及び地域医療の充実に向けた具体的な取組として明記された「訪問看護ステーションの設置」や「津市職員の一志病院への派遣」等について、その実現に向けて津市とともに進めてまいります。

### 【地域医療の推進】

○地域のあらゆる医療ニーズに対応できるプライマリ・ケアを実践するとともに、引き続き、訪問診療、訪問看護等の在宅療養支援や住民健診、がん検診等の予防医療に取り組んでいきます。また、へき地医療拠点病院として、県内のへき地診療所への代診医派遣や、津市美杉地域の診療所に対して医師派遣等を行ってまいります。(H30 目標：訪問診療、訪問看護等延べ患者数 4,000 人、住民健診、人間ドック、がん検診受検者数 1,400 人、医療過疎地域等への支援件数 7 件)

○消防機関や診療所等との密接な連携を図りながら、総合診療医を中心とした 24 時間 365 日の救急患者受入体制を維持し、地域の救急医療体制の確保に貢献してまいります。(H30 目標：救急患者受入件数 1,000 件)

○地域の医療・介護・予防等の多職種による課題検討会「美杉・白山・一志 顔の見える会」の取組への支援や自治会のイベント等への参加を通じて、地域内関係者のネットワークの構築を図ってまいります。(H30 目標：多職種連携による取組件数 30 件)

### 【人材育成の充実】

○三重大学を中心に取り組んでいる総合診療医の育成に対応する拠点病院として、引き続き、研修医や医学生を積極的に受け入れ、同大学との密接な連携を図りながら実践

## 【所管事項説明】

的な研修を実施するなど、県内において総合診療医を育成するための中心的な役割を担っていきます。(H30 目標：初期研修医・医学生受入延べ人数 600 人)

- 看護や介護の実習生を積極的に受け入れ、実践的な研修を行うことにより、地域で貢献できる人材の育成に取り組んでいきます。(H30 目標：看護実習生等受入延べ人数 330 人)

## 【地域医療提供体制の確保に資する研究活動の推進】

- 三重大学等との連携により、プライマリ・ケアや医療人材の育成等に関する研究を推進し、これらのエビデンスの創出・発信を通じて、県内の地域医療提供体制の確保に寄与していきます。(H30 目標：学会、論文等発表件数 30 件)

## 【プライマリ・ケアセンターへの支援】

- 各地域でプライマリ・ケアを実践できる医療従事者等を育成する「三重県プライマリ・ケアセンター」の機能が十分に発揮されるよう、研修会の開催や人材育成の面から積極的に支援を行っていきます。(H30 目標：プライマリ・ケア研修会開催件数 3 件)

## 【業務改善の推進】

- 病院のビジョンの実現に向けて院内に設置した「夢プロジェクト」における職員の活動を通じて、プライマリ・ケアの実践や人材育成、経営の健全化など、一志病院のさまざまな取組をさらに充実・改善していきます。(H30 目標：夢プロジェクト開催回数 12 回)
- 「患者様ご意見箱」や「患者様アンケート」等を通じて、一志病院に対するご意見等を把握・分析し、必要となる取組を検討・推進していくことで、医療サービスや職員の接遇面での対応力の向上を図っていきます。(H30 目標：患者満足度 96.6%)

## 【経常収支比率・医業収支比率の向上および患者数の確保に向けた取組】

- 予防医療を含めた良質な医療サービスの提供を通じて、入院・外来患者数や健康診断等の受診者数の増による収益の増加を図るとともに、材料費や経費など費用の縮減に努めることにより、経常収支および医業収支の向上を図ります。(H30 目標：経常収支比率 101.0%、医業収支比率 66.4%、1 日平均入院患者数 38.0 人/日、1 日平均外来患者数 79.0 人/日)

【所管事項説明】

県立病院課

平成 29 年度の取組方向

各県立病院がそれぞれの役割および機能を十分に発揮し、県民に良質で満足度の高い医療を安定的、継続的に提供できるよう、医師、看護師の確保や各病院の経営改善の支援等に取り組めます。

目標と実績

目 標 項 目	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H32 年度
		目 標	目 標	目 標
	実 績	実 績	実 績	実 績
<b>【経常収支等の向上に向けた支援】</b>				
経常収支比率	102.7%	101.9% 100.4%	101.2%	101.5%
医業収支比率	70.8%	71.4% 67.7%	70.8%	70.8%
<b>【医師・看護師の確保】</b>				
医師充足率	90.2%	100.0% 86.2%	100.0%	100.0%
看護師充足率	100.0%	100.0% 100.0%	100.0%	100.0%
<b>【志摩病院の診療機能の回復・充実】</b>				
1 日平均入院患者数	222.4 人/日	237.0 人/日 222.7 人/日	248.0 人/日	251.0 人/日
1 日平均外来患者数	321.6 人/日	335.0 人/日 321.8 人/日	333.0 人/日	350.0 人/日
1 か月平均救急患者数	505.5 人/月	523.0 人/月 487.1 人/月	547.0 人/月	615.0 人/月
利用者満足度	75.7%	85.0% 75.9%	85.0%	85.0%

平成 29 年度の取組成果

【経常収支等の向上に向けた支援】

○病院事業庁長と各県立病院長（志摩病院を除く）等で構成する「病院事業庁経営会議」等を通じて、各病院の運営状況を的確に把握・分析し、企画提案を行うとともに、国、県の医療政策の動向等の情報を収集し、病院に提供しました。（H29 目標：経常収支比率 101.9%（実績 100.4%）、医業収支比率 71.4%（実績 67.7%））

【医師・看護師の確保】

○医師確保については、三重大学等への派遣要請を継続的に行うとともに、看護師確保

## 【所管事項説明】

については、看護師を養成する大学や専門学校等への積極的な訪問、病院独自の就職説明会の開催、合同就職説明会への参加を行いながら、随時募集を実施しました。こころの医療センターでは、ホームページを刷新して病院の魅力（精神保健指定医が取得しやすい環境など）のPR等を行いました。また、医師や看護師の定着を図るため、学会等研修参加経費の支援や関係図書を整備を行うとともに、子育て支援制度の運用や院内保育所の運営など、医師や看護師にとって働きやすく魅力のある病院をめざした取組を進めました。（H29 目標：医師充足率 100.0%（実績 86.2%）、看護師充足率 100.0%（実績 100.0%））

## 【志摩病院の診療機能の回復・充実】

○志摩病院のさらなる診療体制の回復に向け、病院事業庁と指定管理者（公益社団法人 地域医療振興協会）の代表者等で構成する「志摩病院管理運営協議会」や毎月の業務報告書の聴き取り等を通じて、運営状況を詳細に把握し、課題等について協議・調整を行いました。また、志摩病院の医師を確保するため、病院事業庁と指定管理者が合同で三重大学に対する派遣要請を実施しました。

平成 29 年（2017）年 10 月に知事から地域医療支援病院の承認を受けるとともに、引き続き、地域包括ケア病棟の運用や内科系救急患者の 24 時間 365 日の受入れを行うなど、診療機能の充実に努めました。（H29 目標：1 日平均入院患者数 237.0 人/日（実績 222.7 人/日）、1 日平均外来患者数 335.0 人/日（実績 321.8 人/日）、1 か月平均救急患者数 523.0 人/月（実績 487.1 人/月）、利用者満足度 85.0%（実績 75.9%））

## 平成 30 年度の主要な取組

平成 30 年度は、それぞれの病院が求められる役割・機能を担っていけるよう、医師・看護師等の医療従事者を安定的に確保するとともに、経営面の強化を図るための支援を行っていきます。

## 【経常収支等の向上に向けた支援】

○病院事業庁内の各種会議等を通じて、病院の運営状況を適切に把握・分析するとともに、国・県の医療政策の動向や病院運営にかかる先進的な取組、医療と密接に関連する保健・福祉に関する情報等を積極的に収集・提供するなど、それぞれの病院運営を支援していきます。（H30 目標：経常収支比率 101.2%、医業収支比率 70.8%）

## 【医師・看護師の確保】

○医師や看護師を確保するため、引き続き、研修環境の充実や働きやすい職場づくりなど、医師や看護師にとって魅力のある病院をめざした取組を行うとともに、大学や養成機関等への積極的なPRを進めていきます。（H30 目標：医師充足率 100.0%、看護師充足率 100.0%）

## 【所管事項説明】

### 【志摩病院の診療機能の回復・充実】

○志摩病院の診療体制のさらなる回復および経営改善が着実に図られるよう、引き続き、「志摩病院管理運営協議会」や毎月の業務報告書の聴き取り等を通じて、運営状況を常に把握し、適切な連携および指導・監督を行っていきます。(H30 目標：1日平均入院患者数 248.0人/日、1日平均外来患者数 333.0人/日、1か月平均救急患者数 547.0人/月、利用者満足度 85.0%)

【所管事項説明】

2 平成 29 (2017) 年度病院事業決算の概要について

こころの医療センター、一志病院および指定管理者制度を導入している志摩病院の3病院の管理・運営を行った平成 29 (2017) 年度の病院事業の決算は、収益的収支の経常損益について、3,000万円の黒字となりました。

なお、収益的収支および資本的収支の全体概要等については、次のとおりです。

(1)-1 収益的収支

(単位:百万円、%)

	H28 年度	H29 年度	H29-H28	前年度比
① 病院事業収益 (A+B+C)	5,504	5,337	△168	97.0
医業収益 A	2,847	2,766	△81	97.1
入院収益	2,183	2,111	△72	96.7
外来収益	521	502	△19	96.4
その他医業収益	143	153	9	106.5
医業外収益 B	2,657	2,571	△86	96.7
うち長期前受金戻入	243	232	△11	95.5
うち一般会計繰入金	2,128	2,067	△61	97.1
特別利益 C	—	—	—	—
② 病院事業費用 (D+E+F)	5,392	5,306	△86	98.4
医業費用 D	5,132	5,058	△74	98.6
うち給与費	2,741	2,798	57	102.1
うち材料費	254	258	4	101.7
うち経費	1,537	1,434	△103	93.3
うち減価償却費	569	548	△21	96.4
医業外費用 E	260	248	△12	95.5
うち支払利息	132	120	△11	91.4
特別損失 F	—	—	—	—
③ 経常損益 (A+B) - (D+E)	112	30	△82	26.9
④ 純損益 (① - ②)	112	30	△82	26.9

※四捨五入のため、合計額等が合わない場合があります。

【所管事項説明】

(1) - 2 経常損益の病院別内訳

(単位：百万円、%)

	H28年度	H29年度	H29-H28	前年度比
こころの医療センター	26	△75	△100	—
一志病院	88	91	3	103.5
志摩病院	△2	13	16	—
合計	112	30	△82	26.9

※四捨五入のため、合計額等が合わない場合があります。

(1) - 3 患者数の状況

(単位：人/日、%)

	入院（1日平均）				外来（1日平均）			
	H28	H29	H29-H28	前年度比	H28	H29	H29-H28	前年度比
こころの医療センター	284.7	271.8	△12.9	95.5	253.5	232.9	△20.6	91.9
一志病院	38.1	39.6	1.5	103.9	85.1	79.1	△6.0	92.9
志摩病院	222.4	222.7	0.3	100.1	321.6	321.8	0.2	100.0
うち一般病床、一般外来	131.6	138.8	7.2	105.5	282.4	284.0	1.6	100.6
合計	545.2	534.0	△11.2	98.0	660.3	633.8	△26.5	96.0

※四捨五入のため、合計額等が合わない場合があります。

(2) 資本的収支

(単位：百万円、%)

	H28年度	H29年度	H29-H28	前年度比
① 資本的収入	1,455	1,450	△5	99.7
企業債	355	409	54	115.3
県費負担金	750	441	△309	58.8
短期貸付金返還金	350	600	250	171.4
② 資本的支出	1,909	1,903	△6	99.7
病院増改築工事費	219	210	△9	95.8
資産購入費	180	215	35	119.3
企業債償還金	1,070	787	△282	73.6
長期貸付金	1	1	1	200.0
長期借入金償還金	90	90	—	100.0
短期貸付金	350	600	250	171.4
資本的収支(① - ②)	△455	△453	1	—

※四捨五入のため、合計額等が合わない場合があります。